



## 自ら企画提案することで、伝統ある萩焼を盛り上げたい

います。企業に合わせて新たな萩焼の活用を提案し、萩焼の良さを積極的にPRしています。これまでは、作家自身が作りたいものを形にし、お客様が買い求めるという「待ち」でしたが、自分から「仕掛ける」ことの重要性を感じています。



ギャラリーは庭の奥

### 最後は、自分の作りたい作品を

時間の流れは、年を重ねる毎に早く感じるものです。私は60歳を一区切りと考えているので、あと7年。自分のアイデアを全て形にするには時間が足りないかなと、少し焦りも感じています。それまでに事業を軌道に乗せて、国内外に萩焼ファンを拡大して業界を盛り上げたいと思っています。その後は、若手に事業を任せて本来の作家に戻り、じっくりと自分の作品づくりに取組むのが私の夢です。そのためにも、今は立ち止まらずに走り続けるので、皆さん応援してください。



※小規模事業者持続化補助金とは、中小企業庁補助事業であり、小規模事業者が、商工会議所・商工会と一体となって、販路開拓に取り組む費用の2/3を補助するものです。(上限50万円)  
※2 ビジネスドラフトやまぐち  
山口県内の商工会議所会員事業所を対象とした、販路開拓や事業提携、技術支援等、新たな起業との完全予約型商談会。今年度も開催予定です。



### Yamato's Web Gallery

代表者：大和 猛  
所在地：山口市宮野上 2419 - 2 保男窯内

TEL: 083 - 929 - 3150 H P: <http://ywebg.com/>  
FAX: 083 - 929 - 3261 事業内容：萩焼の企画製造販売  
営業時間：9:00 ~ 18:00  
E-mail: [info@ywebg.com](mailto:info@ywebg.com)

### 伝統工芸と時代の変化への不安

私は、物心ついた時から萩焼に囲まれた生活をしていましたので、父の背中を見ながら、自分も萩焼作家になるべく技術を磨いていました。萩焼は、400年前に朝鮮半島から伝えられ、使い込むことによる色や艶・雰囲気の変化を楽しむことが出来る陶磁器です。茶器の他、大皿や壺などの美術品を思い浮かべる方も多と思います。しかし、現代では、床の間のある家も少なくなり、大型作品の需要も減少していました。私自身、今後の萩焼業界を考えた時に、何か変えなければならないと思うようになりました。

### 高級美術品から、手に取りやすい商品へ

私は、特定のファンだけではなく、広く一般の人に萩焼を手にとって貰うことで業界全体を盛り上げたいと思い、平成24年6月に独立・開業しました。提供する商品は、萩焼の伝統を守りながら、これまでの大型で高価なものから、ピアカップなどのテーブルウェアを中心に、お土産やギフトに対応できる商品・価格帯を展開しました。また、ロット販売にも対応できるようにしたことで、更に販路を開拓することができました。また、陶器では珍しいワインカップの製作にも



萩焼のイメージを一新

成功し、これまでの萩焼の印象を変えることができているのではないかと思います。

### 実感した「情報」の大切さ

開業して感じたことは、「情報」の大切さです。作品づくりに没頭していた頃は、情報を遮断することでアイデアを煮詰めていました。しかし、事業を進める中で、活用できる制度や補助金など、自分の知らない「情報」が溢れているように感じ、



萩焼のワイングラス

商工会議所に加入しました。そこで、小規模事業者持続化補助金(※1)の活用を助めて貰い、インターネット販売とブランディングの構築を行うことが出来ました。また、ビジネスドラフトやまぐち(※2)では、新たな販路としてホテルやギフトショップとも商談でき、多くの方に萩焼の良さを知って頂くことができました。

### 待つ側から、仕掛ける側へ

ホームページを見たお客様から、こんなものは作れるか?といった、お客様のご要望を伺うことも多くあります。それに柔軟に対応していくことは、市場の動向や顧客ニーズを把握することにも繋がり、新たな商品づくりに役立っています。また、最近では、首都圏への販路開拓も行って